



わたし、アナタ、min-na

No. 19

# そのすがたがうれしい

## キャリア編 2

令和4年(2022年)7月20日 市立札幌開成中等教育学校便り  
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1  
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629  
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

保護者の皆様へ

5月20日(金)に行われたPT会公開講座「進路講演会」で寄せられた質問の中で、時間の都合で回答できなかった内容について、講師の河合塾・河崎様からいただいた回答を掲載させていただきます。

Q1 学びみらいPASSの感情制御についてです。日本人は、感情を抑制しすぎると思います。開成生が、年々感情抑制のポイントが下がっていることは、良いことではないかと思えます。抑制した方が良いと言う理由は、何ですか？

A1 ご質問ありがとうございました。当日の説明がわかりづらく申し訳ありません。「学びみらいPASS」で測定しているのは、「感情抑制」ではなく「感情制御力」になります。この力は、ストレスのかかる場面でも自分の気持ちや感情を把握したうえで状況を前向きにとらえ、困難に挑戦していく力として定義しております。

※キャリア支援部より補足 学びみらいPASSの「感情制御力」は国際バカロレアのATLスキルの中では「情動スキル」との結びつきが強いと考えられます。情動スキルの具体的な中身としては「衝動性や怒りを克服する方法を実践する」「逆境や誤り、失敗後の「回復」を実践する」「粘り強さと忍耐を示す」などがあげられます。

Q2 親として、子供の受験に対して、どこまで把握して、どこまで関わるのが適切か、知りたい。

A2 ご質問ありがとうございました。当日の講演でもお伝えいたしましたが、よくお寄せいただく質問でもあるため、改めて回答させていただきます。保護者として出来ることは、スケジュール管理と経済的な支援程度です。将来の進路、大学受験はあくまで本人の問題でもあり、その決定権は保護者ではなく、これも本人です。したがって、どうしたいのか？の判断を促してあげてください。ただし、経済的な支援に関しては、各家庭の諸事情もあり、特に受験にかけられる費用(予算)はある程度の制約があると思われまので、どの程度の金額までなら支援が出来るのか、を明確に伝えてあげてください。このやり取りがないことにより、生徒が勝手に判断をし、保護者に対して妙な忖度(通塾や参考書の断念、私立受験の取りやめなど)をすることで、受験直前に親子間でトラブルが発生するケースはよくあることです。

※キャリア支援部より補足 本校教員は、お子様の成長を認め、自己肯定感や向上心を高めるよう意識して関わりを持つようにしています。受験に関わるコミュニケーションの中では、経済的な問題や教科学力の関係もあり、お子様自身が自身を否定的に捉えてしまいがちな場面も出てくるかと思いますが、そのような場面においても保護者の方にも肯定的にお声がけいただくことが大切だと考えています。

Q3 勉強のやり方、計画の立て方に悩んでいます。計画を立てても続かず、すぐあきらめてしまう姿が多く見られます。苦手意識も強いので、どのように対応したらよいでしょうか？

A3 ご質問ありがとうございました。当日の講演でもお伝えいたしました。よくお寄せいただく質問でもあるため、改めて回答させていただきます。

#### <勉強のやり方>

やり方は千差万別ですが、最もシンプルで直ぐに取り組むことが出来るやり方が、「学校の予習と復習」です。稀に「予習はせずに、授業で習ったことを復習しなさい」とアドバイスする方がいらっしゃいますが、予習なき復習はあり得ないと考えています。そのため、週末や授業の前日に、授業で扱う教科書の該当部分を熟読した上で、例題や問題をまず解答してみます。全部解答することは当然出来ませんが、それでも結構です。最初から完全に解答出来る生徒はいませんし、予習の段階では、解答を出すことを「目的化」させては危険です。なぜ解答出来ないのか、どこで滞っているのかを予習の過程で明確にし、可能であれば参考書などを調べた上で授業に臨んでください。そうすることで、課題が明確化され、受け身ではない主体性のある授業の受け方が実現し、結果として理解度も向上して行きます。さらに、授業終了後はなるべく早期に復習に取り掛かり、自身で授業の再構成をしながら課題の確認をしてください。このサイクルを継続することで、漫然と学習に取り組むことがなくなり何事にも課題をもって臨むスキルが自然と身につけて行きます。

#### <計画の立て方>

日々計画を立てた上で学習に取り組んでいるケースはごく稀なため、急に計画を立てたところで、習慣化させることは困難です。そのため、段階を踏みながら計画を立てていくことをお勧めします。まずは、「TO DO LIST」なるもの(書式は問いません)を作成し、今自分が取り組まなければならない事を可視化してください。そうすることで、行き当たりばったりの学習が抑制されます。さらには、リスト化された中で、今すぐ取り組むことなのか、今週(もしくは今月)中に取り組むことなのかといった優先順位を明確にしてください。この習慣を継続することにより、今後受験勉強がより本格化し、取り組む事が大量に発生した際にも、優先順位をつけた取り組みが自然と出来るようになります。計画表の作成は、その「TO DO LIST」による学習がある程度出来るようになった段階から、いつまでに、何を、どの程度取り組むのかを計画表を作成し(書式は問いません)落とし込むようにしてください。

※キャリア支援部より補足 本校では「ATL学びのプロセスジャーナル」という取り組みを通じて、自分の学びを客観的に振り返ることを推奨しています。日々の授業だけでなく、単元テストや模擬試験などについても振り返りをプロセスジャーナルとしてまとめることで、自分の学びの強み弱みを振り返り、次の目標を立てることの連続が受験勉強につながっていきます。計画についても、基礎期では一律の方法で、充実期以降は個人が自分に合った方法で「スケジュールプランナー」を活用するよう指導しています。これらの取り組みは受験勉強だけでなく、生涯にわたって活用できるスキルとなります。お子様がお困りの際は基本に立ち返って「ATL学びのプロセスジャーナル」や「スケジュールプランナー」を活用するようにアドバイスしていただけると一つのヒントになると考えています。